

組合だより

発行所 岡山大学職員組合
〒700-8530 岡山市津島中2-1-1
電話 086-252-1111(代)
(内線) 7168
直通・FAX 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

6月25日 定期総会開催される

「新年度方針・役員決定」



2007年6月25日(月)午後6時から7時半まで、理学部会議室にて岡山大学職員組合定期大会が開催され、昨年度の活動報告と今後の活動方針についての議論が交わされました。出席者は、代議員14名(委任状31) 執行委員17名の計31名でした。議長の佐竹恭介さん(理)、瀬田幸人さん(教育)のテキパキとした進行で、提出されたすべての議案が採択されました。つづいて選挙管理委員のもとで、新年度の方針を実行する執行メンバー(別表参照)の選出が行われ、新委員長の中富公一さん(法文経)就任挨拶があり、閉会しました。

中富委員長(法文経職員組合)

今年度委員長をお引き受けすることにしました中富です。4年前にもお引き受けしましたが、今回は、連合体史上初の4人の副委員長と1人の書記長に支えられての再登板です。新しい組合像をしっかりとものにしつつ、生き活きとした職場づくり、組合づくりに取り組みたいと思います。今年も宜しくお願い致します。



榊原精書記長(工学部職員組合)

工学部の教員です。この数年、主に組織・財政担当の副委員長として



連合体執行委員会に参加させていただいていましたが、今回書記長という大役を仰せつかりとまどっています。しかし、前書記長の荻野さんが副委員長として残って支えてくださいますし、新たに女性を含め三人の副委員長も加わってくださり、心強い限りです。ともすればくすぶりがちな法人化以後の職場を風通し良くし、一人一人の教職員にとって、やり甲斐のある仕事を楽しくできる岡山大学になるように、組合が役立てればと思っています。

荻野勝副委員長(外国語教育センター)

今年度、副委員長をつとめさせて頂くことになりました荻野勝です。すでに副委員長を1期、書記長を4期つとめてきました。職員組合は組合員のものであり、なるべく多くの組合員が、連合体執行委員や三役として組合活動に参加すべきだというのが私の持論です。三役が固定化しないようなシステムを構築したいと思っています。



尾上雅信副委員長(教育学部職員組合)

副委員長をつとめさせて頂きまず、教育学部の尾上雅信です。連合体との関わりは長いのですが、役に就くのは二回目です。よろしくようお願い申し上げます。
(次ページへ)



 小河達之副委員長(医学部職員組合)



このたび副委員長の要職に選出していただきました、おがわです。歯学部に教務員として着任してから今年で6年目になり、4月より助手になりました。(津島にも半年ほど非常勤でお世話になりました)

自分自身は、岡大の出身ではありませんが、津島事務局横の旧兵舎の宿舎で幼児期を過ごし、鹿田の職員の子供として、学内の様々な施設に父親に連れて行かれ育ちました。

私学で、学部生時代は法学(政治・自治)を専攻、さらに他の国立の大学院で学校教育学を専攻し、今は情報の仕事をしています。

様々の見方考え方を学んだ自分なりの「大学」という存在は、「次世代のため、模範となる機関」である。その信念から組合活動に入りました。従来の赤い旗を立てて、「??粉砕」という活動は大嫌いです。それ以前に自分の置かれた環境の改善と、社会から課せられた使命に対して一定の答えを出すことこそ、最高学府(教育機関)であり、最先端の研究および診療機関であり、そして社会の制度的な模範となる、「国立大学法人岡山大学」を労使という壁なく、作り守りたいという希望を持って、今回医学部単組から代表で出て参りました。

夢は大きく目標は高く・・・でも現実を見つめつつ、役職年齢上下の関係なく真面目に今の岡大を皆さんと考えたいと思います。

現実には業務が忙しく、なかなか組合活動に取り組みませんが、出来るだけのパワーを投入させていただきたいと思います。

 笹倉万里子副委員長(工学部職員組合)



今年度副委員長を勤めさせていただくことになりました笹倉万里子です。所属は工学部です。これまで SANIO (セクハラ・アカハラ ネットワーク in 岡大) でセクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメントについて勉強してきました。組合の仕事は初めてで、わからないことも多いと思いますが、よろしく願います。

中四国教研集会報告



6月23日から24日にかけて、第1[]教研集会が香川大学にて開催されました。参加者は29名。青木宏治全大教副委員長(高知大学)による講演「国立大学における「競争」と「評価」をめぐるとその批判・取組み 運営費交付金の競争資金化と中期目標期の評価をめぐって」、その後、各大学からの報告がありました。当職員組合からも、中富現委員長が「法人化以後の大学と大学の自治、学問の自由」について、榊原現書記長が「岡山大学における教員査定昇給制度」について、報告しました。毎年同じ顔触れとなることもあり、打ち解けた和やかな雰囲気の中、活発な議論が展開されました。



報告中の榊原氏

新旧役員交流会

7月9日(月)午後6時半から、ピーチユニオン4階レストランにて、岡山大学職員組合の新旧役員交流会が開かれました。参加者は、新旧役員をはじめ、職員組合の合唱団メンバーなど23名でした。旧委員長の乾杯の挨拶後、食事をしながら歓談しました。旧役員から1年間の経験を振り返っての感想が話され、新役員からは自己紹介とともに今後の活動の提案などもあり、交流を深めました。また、合唱団が日頃の練習の成果を披露しました。



2007年度活動方針きまる

6月25日開催の定期大会で、2007年度の活動方針が提案され、種々討論の結果、下記の活動方針が決定されました。この決定に基づき、今期の活動を一杯展開していきましょう！

はじめに

岡山大学が国立大学法人となって3年が経ちました。査定昇給問題、非常勤職員問題に関して、昨年度は団体交渉の要求項目として取り上げ、いくつか成果をあげてきました。今年度も、組合側の主張が認められるよう、積極的に取り組んでいきます。

また、岡山大学が法人化して3年経った後も、まだまださまざまな問題が山積んでいます。組合としては、問題点を整理しながら、積極的に提示していきます。

(1) 大学の自治の担い手として

日本の大学、そして岡山大学の置かれている状況が大きく変化している今日、重要で必要な情報を適確に組合員に伝えるよう努力します。また、岡山大学が向かうべき大学像について理論的な検討を行います。必要があれば学長と懇談会などを持ちます。また全大教とも協力して社会に対して必要な働きかけを行います。



(2) 団体交渉

教育、研究、医療および学内の管理運営に関して表面化してきた問題点や、就業規則、労使協定でまだ解決されていない問題点を整理して、団体交渉を行います。非常勤職員の労働条件など、様々な個別の問題に関しては、迅速に対応します。

(3) 組合の組織拡大

誰もが参加できるオープンな組合づくり、分散協調型の組合づくりに努めます。

大学当局との交渉力を高めるためにも、未加入教職員への加入をさらに働きかけ、組織拡大に継続的に取り組みます。未組織部局の組織結成、個人加入を呼びかけ、事務職員、技術職員、看護師、非常勤職員についてはさまざまな形態の可能性を含めて、組織づくりを検討します。女性の組合加入の拡大も目指します。魅力ある執行委員会と三役体制の在り方について検討します。

(4) 代表委員会と組合のあり方

労使関係の労働者を代表するものとして、事業場別・部局別職員代表委員会が存在します。組合としては、代表委員とも連携して、組合員の意見を代表委員会に反映させるよう努めます。

(5) 人権部と法律相談所

人権部と法律相談所(「ユニオン」)をさらに充実させていきます。皆さんからさらに信頼される人権部および法律相談所になるよう、システムを整備していきます。

(6) 広報活動

団体交渉の内容を「組合だより」に掲載し、大学の現状を構成員の目に見えるように努力します。また、「組合だより」の1ヶ月1回程度の発行を維持しつつ、さらに、職場の実態や意見交流の場としても充実させていきます。また、読みやすく見やすい紙面づくりに努力していきます。



(7) 文化・学習会・レクリエーション活動

合唱団は、日々の業務に忙殺されている組合員にとって一服の清涼剤であり、職場・職種を越えた交流の場として貴重な役割を果たしてきており、さらに多くの参加を得て継続発展させていきます。また、演劇・映画・講演会等への補助も続けていきます。その他、組合員の学習の場・憩いの場・交流の場となるような活動を今後とも支援していきます。

(8) 平和と民主主義の取り組み

今後とも、憲法を重視する立場から平和・民主主義の課題と取り組みます。具体的には、これまでも構成メンバーとして参加してきた「憲法のつどい岡山実行委員会」「『建国記念の日』問題連絡協議会」に、可能な範囲で協力していきます。

(9) 全大教及び中四協との連携

大学間の格差が増大しつつある今、全大教及び中四協との連携はますます重要になります。全国教研、中四協教研を中心に様々なレベルでの多様な連携を強めていきます。

全大教教研集会のお知らせ



9/22～24の日程で、京都大学内で開催されます。教育研究条件整備、大学運営問題、賃金・労働条件、組織拡大などがテーマです。

レポートを準備して積極的に参加しましょう。

お申し込みは、書記局まで



新執行委員紹介

役職	氏名	所属
執行委員長	中富 公一	法文経
副委員長	尾上 雅信	教育学部
"	荻野 勝	外教センター
"	小河 達之	医学部
"	笹倉 真理子	工学部
書記長	榊原 精	工学部
執行委員	橘 英範	法文経
"	岸本 廣司	教育学部
"	泉谷 淑夫	教育学部
"	佐竹 恭介	理学部
"	岡田 美德	"
"	佐々木 徹	環境理工
"	舟橋 弘晃	農学部
"	宮竹 貴久	"
"	小山 真二	附属学園
"	岡島 靖	"
"	荒嶋 康晴	医学部
"	矢田 範夫	"
"	酒井 峰男	国際センター
監査委員	後藤 丹十郎	農学部
"	蜂谷 欽司	理学部
選挙管理委員	鈴木 茂之	"
"	福永 信哲	教育学部

座標軸

参議院選挙が目前に迫っている。この選挙の争点は年金問題だそうだ。豊富な政治資金が投入されて、「年金は確実に受け取れます」と空手形(?)の乱発合戦がされているかのようだ。だが、そうした表舞台の蔭に、いくつかの問題が「隠蔽」されている。一つは消費税増税問題。安倍総理の発言が、5日から12日までの間に「上げないとは言っていない」「上げなくてもすむ可能性あり」「上げなくてすむ状況に持っていきたい」と迷走したのは有名な話だ。政治とお金を巡る問題も、はなはだ不透明なままである。死者にむち打つつもりはないが、松岡農水大臣の自殺にひきつづき、後任の赤城大臣に関しても、事柄はきわめて不透明であり、不明朗だ。もっと恐ろしいことも隠されている。原爆はやむを得なかったと言って久間初代防衛大臣は、辞任したけれども、自民党候補の32%までが、核武装問題の検討開始に肯定的な回答を寄せている。集団的自衛権を巡る問題も、深刻さをましている。MDに集中するアメリカのイージス艦の護衛のために日本の海上自衛隊がアメリカのジェット戦闘機にミサイル発射を命令する演習が繰り返されている。安倍総理の悲願である「憲法改正」9条破棄が、年金問題の蔭に隠蔽されたかどうか分からない。だが、この選挙結果によって、三年後憲法改正問題の行方が決することは間違いない。(い)

教職員共済よりお知らせ

下記の共済に加入をしている方は、共済金をお支払いしますのでご連絡をお願いいたします。



建物に被害があった場合・・・火災共済・総合共済
けがや入院をされた場合・・・総合共済
交通災害共済
医療共済

(契約内容や被害の状況によって、対象とならない場合もありますので、大学支部までお問い合わせください。)

教職員共済生活協同組合 大学支部
電話 0120-628-095

編集後記



先日、生協で食事をしていると、キャッキョッキョとひっきりなしに笑い続ける女子学生がいました。話していることがよほど楽しいことみたいでした。思い返してみると、私も大学に入った頃は、全てが希望だらけで何の不安もなく、食堂で友人と語らっていたなぁと思い出し、私までが楽しい気分になってしまいました。時には親しい友人と全てを忘れて楽しい話をする必要かもしれません。